

△の数	訂	正	記	事	設計	検図	年月日	△の数	訂	正	記	事	設計	検図	年月日
△								△							
△								△							
適用規格															
定 格	使用温度範囲		-35℃～+85℃（注1）				保存温度範囲		-10℃～+60℃						
	電 圧		AC 250 V												
	電 流		3 A												
性 能															
	項 目		試 験 方 法				規 格				QT	AT			
構 造	外観、構造及び仕 上げ		目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○			
	表 示		目視にて確認する。								○	○			
電 氣 的 性 能	低電圧、低電流下 の接触抵抗		100mA（DC又は1000 Hz）で測定する。				30 mΩ以下				○	—			
	絶 縁 抵 抗		DC 500 Vで測定する。				1000 MΩ以上				○	—			
	耐 電 圧		AC 650 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	—			
機 械 的 性 能	繰り返し動作		30 回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗：30 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—			
	耐 振 性		周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3方向 各2時間試験する。				① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—			
	耐 衝 撃 性		加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。				① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗：30 mΩ以下 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—			
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性		温度 40±2℃、湿度 90～95% 中に 96 時間放置する。				① 接触抵抗：30 mΩ以下 ② 絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—			
	温度サイクル		温度 -55 → 5～35 → 85 → 5～35℃ 時間 30 → 5以内 → 30 → 5以内 分 を 5 サイクル試験する。				① 接触抵抗：30 mΩ以下 ② 絶縁抵抗：1000 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—			
	はんだ耐熱性		【70-半田付けの場合】 はんだ温度 260℃、5 秒間 で試験する。 【手半田付けの場合】 はんだこて温度 300℃、3秒 で試験する。 但し、端子に力を加えないこと。				外観の変形及び端子などの著しい ガタがないこと。				○	—			
	はんだ付け性		はんだ温度 235℃、浸漬時間 5 秒間 のはんだ付けを行う。				半田浸せき面の 95% 以上が新しい はんだでぬれていること。				○	—			
備考（注1）通電による温度上昇を含む。															
							製 図	設 計	検 図	承 認	出 図				
															
試験規格の記載のない試験方法は JIS C 5402を適用している。															
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目															
HRS		ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.				製品規格表				製品名 DF1BD-3P-2.5DSA (05)					
旧CL		図番		製品コード				1/1							
CL		SLC4-160004-01		CL541-0801-6-05											